

公益財団法人平塚市まちづくり財団令和３年度第３回理事会議事録 概要

令和３年１２月９日午前１０時３０分、当財団２階会議室において、令和３年度第３回理事会を開催した。

出席理事 ７人（理事総数７人）

井上純一、難波修三、岩崎由紀子、梶井龍太郎、高橋佳久、田中國義、丸山孜
（岩崎由紀子、梶井龍太郎、高橋佳久、丸山孜の各理事はＷｅｂ会議の方法により出席）

出席監事 ２人

長谷川進、岩崎浩臣

（長谷川進、岩崎浩臣の各監事はＷｅｂ会議の方法により出席）

議事録作成者

理事長 井上純一

司会者である総務施設課長が、本日の会議はＷｅｂ会議システムを用いて開催され、本日の理事会は理事７人のうち岩崎由紀子理事、梶井龍太郎理事、高橋佳久理事、丸山孜理事はＷｅｂ会議の方法により出席し、Ｗｅｂ会議システムにより出席者の映像と音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時適格な意見表明が互いにできる状態になっていることの確認及び理事全員の出席を得ていることから、本理事会が有効に成立していることの報告をした後、理事会運営規程第６条第１項の規定により井上純一理事長が議長となり、開会を宣した。

議長は、本日の議題は、議案として、「議案第５号 臨時職員等の就業に関する規程の一部を改正する規程」の１案件と、報告事項として、「田中國義理事の利益相反取引の報告」と「理事長及び常務理事の職務執行状況報告（９～１１月）」の２案件である旨を告げ、審議に入った。

議案第５号 臨時職員等の就業に関する規程の一部を改正する規程

理事長は、臨時職員には有期雇用契約と無期雇用契約という２つの契約形態があり、無期雇用契約を締結している臨時職員については令和４年４月１日以降、同じ無期雇用の嘱託職員に契約変更し、臨時職員については、無期雇用契約という契約形態をなくするため規定を整備するものとし、また現在、６０歳定年制を実施し、６０歳後は本人の希望により６５歳まで継続雇用することとしているが、労働契約法の規定により

60歳後に有期雇用契約から無期雇用契約に転換する嘱託職員が発生する場合が想定され、その場合の定年を定める規定がないことから、新たに定年を定める規定を設けるものとし、議案第5号別紙により説明した。

議長が諮ったところ、議案第5号 臨時職員等の就業に関する規程の一部を改正する規程について、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

田中國義理事の利益相反取引の報告

理事長は、令和3年3月4日、令和2年度第6回理事会において承認された田中國義理事の利益相反取引が終了したため、事業の実施状況等取引の内容について報告した。

理事長及び常務理事の職務執行状況報告（9～11月）

常務理事は、理事長及び常務理事の職務執行状況報告として、令和3年9～11月の事業実施状況等について、職務執行状況報告書により報告した。

前記Web会議システムを用いた本理事会は終始異状なく行われ、全ての審議及び報告が終了したので、議長は閉会を宣し、午前11時10分閉会した。